

# 第 11 回「金持ち企業ランキング」調査

2022 年 8 月

あなたの会社の **e-審査部**  
**リスクモンスター株式会社**

<https://www.riskmonster.co.jp>

## ■ 調査の概要

### 1. 調査名称

第 11 回「金持ち企業ランキング」調査

### 2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

### 3. 調査対象決算期

2022 年7月1日時点で開示されていた 2021 年4月期決算以降の最新決算

### 4. 調査対象企業

金融機関(銀行、証券会社、保険会社等)を除く、決算短信提出企業

### 5. 調査対象企業数

3,330 社

## 1. 調査結果

### [1]「金持ち企業ランキング」／ランキング結果

決算書の記載に基づき算出した NetCash(※)を比較した「金持ち企業ランキング」の1位は「任天堂」(NetCash1兆 2,065 億円)であった。次いで「信越化学工業」が2位(同 1兆 824 億円)、「ファーストリテイリング」が3位(同 7,020 億円)となり、以下「SMC」(同 6,733 億円)、「リクルートホールディングス」(同 6,089 億円)、「SUBARU」(同 5,490 億円)、「第一三共」(同 4,990 億円)と続いた。

上位 20 社にランクインした企業のうち 16 社において前回調査よりも NetCash が増加しており、1兆円の大台を超える企業は、2社(任天堂、信越化学工業)に増加した。

業種別では、上位 20 社のうち製造業が 13 社ランクインしており、製造業の Cash 保有度合いの高さが目立つ結果となった。

前回順位との比較においては、「第一三共」(前回 43 位→今回7位)が大幅にランクアップし、上位進出となった。一方、海外企業の買収を実施した「セブン&アイ・ホールディングス」(同9位→同 3,165 位)と「パナソニック」(同 10 位→同 3,110 位)は、大きく順位を下げる結果となった。(図表A)

なお、トップ 100 については、図表Bにまとめた。

※日本会計基準：

$$\text{NetCash} = \text{現預金} - (\text{短期借入金} + \text{長期借入金} + \text{社債} + \text{一年以内返済の長期借入金} + \text{一年以内償還の社債} + \text{割引手形})$$

国際財務報告基準：

$$\text{NetCash} = \text{① 現預金} - \text{有利子負債} \text{ または、} \\ \text{② 現預金} - (\text{借入金} + \text{社債} + \text{割引手形}) \text{ または、} \\ \text{③ 現預金} - (\text{短期借入金} + \text{長期借入金} + \text{社債} + \text{一年以内返済の長期借入金} + \text{一年以内償還の社債} + \text{割引手形})$$

のいずれかで算出。

### [2]「金持ち企業ランキング」／ランキング上位企業分析

金持ち企業ランキング上位 20 社の「現預金」、「有利子負債」、「営業キャッシュフロー」について、それぞれ集計したところ、現預金では、「任天堂」、「ファーストリテイリング」、「信越化学工業」、「スズキ」、「SUBARU」が上位となった。有利子負債においては、「任天堂」、「キーエンス」、「ファナック」、「ネクソン」、「東京エレクトロン」の5社が0円となった。営業キャッシュフローでは、「信越化学工業」、「リクルートホールディングス」、「ファーストリテイリング」、「任天堂」、「東京エレクトロン」が上位となった。

「スズキ」や「ファーストリテイリング」は、負債は多いものの、それを上回る現預金を有していることが、金持ち企業ランキング上位の要因となっていることが分かる。NetCash が1兆円を超えて

いる「任天堂」、「信越化学工業」においては、多額の現預金を有し、且つ有利子負債が少ないことが金持ち企業ランキング上位の要因であり、有利子負債による財務レバレッジを効かせずに、高い Cash 創出力を有していることが分かる。(図表C)

### [3]「金持ち企業ランキング」／現預金ランキング

現預金額のみで集計を行ったところ、ランキング1位は「トヨタ自動車」となり、「ソフトバンクグループ」が2位、「楽天グループ」が3位、以下「本田技研工業」、「ソニーグループ」と続いた。

金持ち企業ランキング上位企業と現預金ランキング上位企業を比較したところ、両方にランクインしているのは、「任天堂」、「ファーストリテイリング」、「信越化学工業」、「スズキ」、「SUBARU」の5社のみとなった。(図表D)

### [4]「金持ち企業ランキング」／有利子負債ランキング

有利子負債の多寡について集計を行ったところ、1位は「トヨタ自動車」となり、「ソフトバンクグループ」が2位、「本田技研工業」が3位、以下「三菱 HC キャピタル」、「日本電信電話」と続いた。(図表E)

### [5]「金持ち企業ランキング」／営業キャッシュフローランキング

営業キャッシュフローについて集計を行ったところ、1位は「トヨタ自動車」となり、「日本電信電話」が2位、「ソフトバンクグループ」が3位、以下「本田技研工業」、「KDDI」と続いた。

現預金、有利子負債、営業キャッシュフローの3つのランキングすべてにランクインしているのは9社あり、これらの企業は借入により調達した多額の資金を事業へ投資することで新たな Cash を創出し、現預金の積み上げに繋げている企業が多いといえる。

一方、金持ち企業ランキング上位企業と営業キャッシュフローランキング上位企業を比較したところ、両方にランクインしているのは、「信越化学工業」の1社のみとなった。同社は、有利子負債に頼らず高い Cash の創出力を有していることが、多額の NetCash に繋がっているといえよう。(図表F)

### [6]「金持ち企業ランキング」／配当性向

金持ち企業ランキング上位 20 社の配当性向を調査したところ、1位は「第一三共」(配当性向 77.3%)、次いで「SUBARU」(同 61.3%)、「ファナック」(同 60.0%)と続いた。

前年度との比較では、20 社中 12 社の配当性向が低下しており、前年度に 100 周年記念配当を実施したシマノ(前年度 51.8%→今年度 18.8%)、前年度から純利益が2倍となったファーストリテイリング(同 54.2%→同 28.9%)は、前年度から配当性向が 20 ポイント以上低下する結果となった。(図表 G)

同様に、金持ち企業ランキングベスト 100 の企業について、配当性向を調査したところ、前回は 100 社中 54 社が上昇した一方、今回は 100 社中 59 社が低下している。2022 年3月期決算の上場企業のうち、3社に1社が最高益を更新し、利益が増加している一方、現下の不透明な経済環境を考慮し、積極的な増配による株主還元には慎重な企業が多かったとみられる。(図表 H)

## 2. 総評

第 11 回金持ち企業ランキングは、前回調査に続き1位「任天堂」、2位「信越化学工業」、3位「ファーストリテイリング」となった。

「任天堂」、「信越化学工業」は、現預金ランキングの上位に位置し、多額の Cash を保有しつつも有利子負債が少ないことが、NetCash を豊富に有する要因となった。

一方、「トヨタ自動車」、「ソフトバンクグループ」は、金持ち企業ランキングの上位には入っていないものの、現預金、有利子負債、営業キャッシュフローの3項目において、すべて3位内となっており、現預金額を超える有利子負債により財務レバレッジを効かせることで、多額の営業キャッシュフローを獲得できている企業であることが分かる。

今回のランキングは上位企業に大きな変動は見られなかったものの、上位 20 社のうち 16 社、上位 100 社のうち 76 社において前年度よりも NetCash が増加しており、全体的に企業が保有する Cash の増加傾向が表れている。

経営の三大資源の一つである「カネ」を保有しておくことは、安定した経営を実現する上で必要であり、NetCash の増加企業においては、経営の安定性を高めたいという事業戦略がうかがえよう。

7月に入って急激に感染者が増加した新型コロナウイルスは依然として終息が見えず、7月1日に発表された日銀短観では、大企業製造業業況判断 DI が2四半期連続で悪化した。20年ぶりの円安進行や物価上昇、ロシアによるウクライナへの侵攻も懸念材料であり、Cash レベルを高めておきたいという経営者の意向も当然であろう。

一方、2022年3月期決算の上場企業のうち、3社に1社が最高益を更新するなど、企業の収益は好調であり、本来であれば獲得した利益は投資や株主還元に戻すことになるが、配当性向を調査したところ金持ち企業ランキング上位 100 社中 59 社が低下している。前述の通り 100 社中 76 社の NetCash が増加していることを考えれば、利益は出ているものの、現下の不透明な経済環境を考慮し Cash の積み増しを選択した企業が多かったと考えられる。

本調査の結果からは、「企業業績は好調だが、事業環境が不透明であるため Cash は使わず貯めている」企業が多いといえる。確かに、先行きの見えない状況において、不測の事態に対応できるだけの Cash を確保しておく必要はあろう。一方で本ランキング上位は、日本の中でも安定性の高い優良企業ばかりであり、今後の経済回復の牽引役となっていくべき企業である。新型コロナの終息や懸念される経済環境が改善した際には、これらの企業が現下に積み上げた Cash を積極的に活用することにより、景気回復の後押しとなることを期待したい。

図表A 第11回「金持ち企業ランキング」/ランキングベスト20

順位	前回 順位	企業名	都道府県	業種	Net Cash	前回 Net Cash
1	1	任天堂	京都府	娯楽用品・玩具製造業	1兆2,065億円	1兆1,852億円
2	2	信越化学工業	東京都	化学工業	1兆824億円	8,391億円
3	3	ファーストリテイリング	山口県	織物・衣服・身の回り品小売業	7,020億円	6,235億円
4	4	SMC	東京都	はん用機械器具製造業	6,733億円	6,185億円
5	12	リクルートホールディングス	東京都	職業紹介・労働者派遣業	6,089億円	3,883億円
6	5	SUBARU	東京都	自動車製造業	5,490億円	5,734億円
7	43	第一三共	東京都	医薬品製剤製造業	4,990億円	1,537億円
8	7	セコム	東京都	セキュリティサービス業	4,747億円	4,507億円
9	11	キーエンス	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	4,643億円	4,012億円
10	8	ファナック	山梨県	生産用機械器具製造業	4,235億円	4,298億円
11	6	三菱電機	東京都	電気機械器具製造業	3,977億円	5,185億円
12	23	ネクソン	東京都	情報提供サービス業	3,652億円	2,388億円
13	14	日東電工	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	3,618億円	3,003億円
14	13	シマノ	大阪府	自転車部品製造業	3,614億円	3,056億円
15	15	京セラ	京都府	窯業・土石製品製造業	3,176億円	2,888億円
16	16	小糸製作所	東京都	電気機械器具製造業	2,989億円	2,829億円
17	19	スズキ	静岡県	自動車製造業	2,987億円	2,623億円
18	31	大塚ホールディングス	東京都	医療関連事業	2,751億円	2,036億円
19	17	大成建設	東京都	総合工事業	2,749億円	2,754億円
20	34	東京エレクトロン	東京都	生産用機械器具製造業	2,743億円	1,865億円

図表 B 第 11 回「金持ち企業ランキング」／ランキングベスト 100

順位	企業名	Net Cash	順位	企業名	Net Cash
1	任天堂	1兆2,065億円	51	島津製作所	1,563億円
2	信越化学工業	1兆824億円	52	ユニ・チャーム	1,492億円
3	ファーストリテイリング	7,020億円	53	石油資源開発	1,465億円
4	SMC	6,733億円	54	電通グループ	1,444億円
5	リクルートホールディングス	6,089億円	55	スズケン	1,414億円
6	SUBARU	5,490億円	56	スタンレー電気	1,405億円
7	第一三共	4,990億円	57	エービーシー・マート	1,404億円
8	セコム	4,747億円	58	テイ・エステック	1,396億円
9	キーエンス	4,643億円	59	大日本印刷	1,337億円
10	ファナック	4,235億円	60	ヤクルト本社	1,324億円
11	三菱電機	3,977億円	61	久光製薬	1,280億円
12	ネクソン	3,652億円	62	ブラザー工業	1,271億円
13	日東電工	3,618億円	63	ディスコ	1,258億円
14	シマノ	3,614億円	64	東建コーポレーション	1,248億円
15	京セラ	3,176億円	65	オービック	1,227億円
16	小糸製作所	2,989億円	66	オムロン	1,155億円
17	スズキ	2,987億円	67	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	1,145億円
18	大塚ホールディングス	2,751億円	68	東洋水産	1,125億円
19	大成建設	2,749億円	69	ミクシィ	1,105億円
20	東京エレクトロン	2,743億円	70	SCREENホールディングス	1,089億円
21	HOYA	2,739億円	71	ミスミグループ本社	1,073億円
22	中外製薬	2,678億円	72	コーセー	1,047億円
23	大正製薬ホールディングス	2,650億円	73	エムスリー	1,043億円
24	協和キリン	2,645億円	74	マブチモーター	1,039億円
25	村田製作所	2,594億円	75	エスケー化研	1,036億円
26	バンダイナムコホールディングス	2,584億円	76	カプコン	1,024億円
27	塩野義製薬	2,544億円	77	江崎グリコ	1,017億円
28	ローム	2,526億円	78	セガサミーホールディングス	1,005億円
29	メディパルホールディングス	2,432億円	79	メルカリ	1,003億円
30	ホシザキ	2,407億円	80	アマダ	997億円
31	ニコン	2,402億円	81	大和工業	997億円
32	ブリヂストン	2,389億円	82	トヨタ紡織	982億円
33	日揮ホールディングス	2,158億円	83	三共	980億円
34	エーザイ	2,147億円	84	ライオン	954億円
35	花王	2,083億円	85	ダイキン工業	952億円
36	富士通	1,987億円	86	ナブテスコ	952億円
37	大塚商会	1,982億円	87	小林製薬	950億円
38	トレンドマイクロ	1,977億円	88	伊藤忠テクノソリューションズ	941億円
39	しまむら	1,854億円	89	日立物流	938億円
40	凸版印刷	1,839億円	90	ダイフク	924億円
41	コナミホールディングス	1,826億円	91	ビー・エム・エル	921億円
42	アルフレッサホールディングス	1,804億円	92	セイコーエプソン	921億円
43	サイバーエージェント	1,792億円	93	GMOペイメントゲートウェイ	894億円
44	キヤノン	1,768億円	94	サンドラッグ	893億円
45	リンナイ	1,732億円	95	ベネッセホールディングス	875億円
46	ヤマトホールディングス	1,676億円	96	グリー	868億円
47	大東建託	1,644億円	97	アドバンテスト	860億円
48	スクウェア・エニックス・ホールディングス	1,631億円	98	SCSK	848億円
49	ヤマハ	1,620億円	99	参天製薬	830億円
50	ローソン	1,614億円	100	ツルハホールディングス	827億円

図表 C 第 11 回「金持ち企業ランキング」/ランキング上位企業分析

順位	企業名	現預金	有利子負債	営業キャッシュフロー
1	任天堂	1兆2,065億円	0円	2,897億円
2	信越化学工業	1兆1,128億円	304億円	5,535億円
3	ファーストリテイリング	1兆1,777億円	4,758億円	4,290億円
4	SMC	6,848億円	115億円	1,561億円
5	リクルートホールディングス	6,696億円	606億円	4,396億円
6	SUBARU	8,831億円	3,340億円	1,957億円
7	第一三共	6,625億円	1,635億円	1,392億円
8	セコム	5,224億円	477億円	1,649億円
9	キーエンス	4,643億円	0円	2,715億円
10	ファナック	4,235億円	0円	1,256億円
11	三菱電機	7,272億円	3,295億円	2,824億円
12	ネクソン	3,652億円	0円	1,059億円
13	日東電工	3,620億円	2億円	1,445億円
14	シマノ	3,645億円	31億円	1,124億円
15	京セラ	4,141億円	965億円	2,020億円
16	小糸製作所	3,239億円	250億円	657億円
17	スズキ	9,643億円	6,656億円	2,213億円
18	大塚ホールディングス	4,107億円	1,356億円	2,289億円
19	大成建設	4,991億円	2,242億円	805億円
20	東京エレクトロン	2,743億円	0円	2,834億円

※背景色ありは、「現預金」が多い上位5社、「有利子負債」が少ない上位5社、「営業キャッシュフロー」が多い上位5社

図表 D 第 11 回「金持ち企業ランキング」/現預金ランキング

順位	企業名	業種	現預金
1	トヨタ自動車	自動車製造業	6兆1,137億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	5兆1,690億円
3	楽天グループ	インターネット附随サービス業	4兆4,103億円
4	本田技研工業	自動車製造業	3兆6,749億円
5	ソニーグループ	技術サービス業	2兆496億円
6	ソフトバンク	通信業	1兆5,468億円
7	日産自動車	自動車製造業	1兆4,320億円
8	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	1兆4,207億円
9	任天堂	娯楽用品・玩具製造業	1兆2,065億円
10	パナソニック	電機機械器具製造業	1兆2,059億円
11	ファーストリテイリング	織物・衣服・身の回り品小売業	1兆1,777億円
12	イオン	各種商品小売業	1兆1,723億円
13	三井物産	各種商品卸売業	1兆1,279億円
14	Zホールディングス	インターネット附随サービス業	1兆1,275億円
15	信越化学工業	化学工業	1兆1,128億円
16	日立製作所	電機機械器具製造業	9,688億円
17	スズキ	自動車製造業	9,643億円
18	オリックス	物品賃貸業	9,548億円
19	SUBARU	自動車製造業	8,831億円
20	デンソー	自動車部品製造業	8,678億円

背景色ありは図表Aのランキング上位企業



図表 E 第 11 回「金持ち企業ランキング」/有利子負債ランキング

順位	企業名	業種	有利子負債
1	トヨタ自動車	自動車製造業	26兆4,964億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	21兆4,574億円
3	本田技研工業	自動車製造業	8兆1,026億円
4	三菱HCキャピタル	物品賃貸業	7兆4,616億円
5	日本電信電話	通信業	7兆3,643億円
6	日産自動車	自動車製造業	6兆9,978億円
7	ソフトバンク	通信業	5兆9,995億円
8	三菱商事	各種製品卸売業	5兆6,432億円
9	東京電力ホールディングス	電力業	4兆9,426億円
10	三井物産	各種商品卸売業	4兆8,775億円
11	オリックス	物品賃貸業	4兆8,667億円
12	関西電力	電力業	4兆8,383億円
13	楽天グループ	インターネット附随サービス業	4兆8,183億円
14	武田薬品工業	化学鋼業	4兆3,454億円
15	東京センチュリー	物品賃貸業	4兆2,159億円
16	東日本旅客鉄道	鉄道業	4兆549億円
17	九州電力	電力業	3兆6,381億円
18	ソニーグループ	技術サービス業	3兆3,516億円
19	住友不動産	不動産賃貸業	3兆2,633億円
20	三井不動産	不動産賃貸業	3兆1,175億円

背景色ありは図表Dのランキング上位企業

図表 F 第 11 回「金持ち企業ランキング」/ 営業キャッシュフローランキング

順位	企業名	業種	営業キャッシュフロー
1	トヨタ自動車	自動車製造業	3兆7,226億円
2	日本電信電話	通信業	3兆103億円
3	ソフトバンクグループ	通信業	2兆7,255億円
4	本田技研工業	自動車製造業	1兆6,796億円
5	KDDI	通信業	1兆4,686億円
6	ソニーグループ	技術サービス業	1兆2,336億円
7	ソフトバンク	通信業	1兆2,159億円
8	武田薬品工業	化学工業	1兆1,231億円
9	オリックス	物品賃貸業	1兆1,034億円
10	三菱商事	各種商品卸売業	1兆1,558億円
11	日産自動車	自動車製造業	8,472億円
12	三井物産	各種商品卸売業	8,069億円
13	伊藤忠商事	各種商品卸売業	8,012億円
14	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	7,365億円
15	日立製作所	電気機械器具製造業	7,299億円
16	日本製鉄	鉄鋼業	6,156億円
17	日本たばこ産業	たばこ製造業	5,989億円
18	楽天グループ	インターネット附随サービス業	5,827億円
19	信越化学工業	化学工業	5,535億円
20	日本郵船	外航海運業	5,078億円

背景色ありは現預金、有利子負債、営業キャッシュフローにすべてランクインした企業

図表 G 第 11 回「金持ち企業ランキング」／ランキングベスト 20 配当性向

順位	企業名	配当性向	前期の配当性向	配当性向の増減
1	任天堂	50.2%	55.1%	-4.9pt
2	信越化学工業	33.2%	35.4%	-2.2pt
3	ファーストリテイリング	28.9%	54.2%	-25.3pt
4	SMC	25.7%	27.3%	-1.6pt
5	リクルートホールディングス	11.6%	25.1%	-13.5pt
6	SUBARU	61.3%	56.1%	5.2pt
7	第一三共	77.3%	68.9%	8.4pt
8	セコム	41.7%	49.7%	-8.0pt
9	キーエンス	16.0%	24.6%	-8.6pt
10	ファナック	60.0%	60.0%	0.0pt
11	三菱電機	41.9%	40.0%	1.9pt
12	ネクソン	5.8%	7.9%	-2.1pt
13	日東電工	33.5%	42.3%	-8.8pt
14	シマノ	18.8%	51.8%	-33.0pt
15	京セラ	43.8%	56.2%	-12.4pt
16	小糸製作所	22.6%	21.4%	1.2pt
17	スズキ	27.6%	29.8%	-2.2pt
18	大塚ホールディングス	43.2%	36.6%	6.6pt
19	大成建設	37.0%	29.4%	7.6pt
20	東京エレクトロン	50.0%	50.0%	0.0pt

背景色ありは配当性向が40%以上の企業

図表 H 第 11 回「金持ち企業ランキング」／ランキングベスト 100 配当性向

単位(社)

		今期配当性向			
		上昇	変化なし	低下	小計
前期 配当性向	上昇	17	0	37	54
	変化なし	1	5	4	10
	低下	15	3	18	36
	小計	33	8	59	100